

首都圏への校外学習報告 2024

鷹 齋 直也*

Field Trip Report to the Tokyo Metropolitan Area 2024

Naoya Takanohashi*

要旨： IT 会計ビジネス科では、令和 3 年度よりカリキュラムの見直しを行い、地域社会論の授業を縮小する一方で、1 年後期に 2 日間の「首都圏への校外学習」を新設した。そこで、本稿では令和 6 年度に実施した「首都圏への校外学習」の報告を行う。

キーワード： 校外学習、首都圏

1. はじめに

IT 会計ビジネス科では、令和 3 年度よりカリキュラムの見直しを行い、地域社会論の授業を縮小する一方で、1 年後期に 2 日間の「首都圏への校外学習」を新設した。令和 3 年度は新型コロナの影響で社会活動が制限されたため中止となり、翌年の令和 4 年度より実施している。

本稿では、今年度で 3 回目となった令和 6 年度「首都圏への校外学習」の報告を行う。

2. 首都圏の校外学習の概要

(1) 実施日時

令和 6 年 10 月 10 日（木）13 時¹⁾から

令和 6 年 10 月 11 日（金）16 時まで

(2) 見学先

① 戸越銀座商店街連合会

（東京都品川区戸越 1 丁目 15 番 16 号）

② 三菱 UFJ 信託銀行株式会社

（東京都千代田区丸の内 1 丁目 4 番 6 号）

③ 東京証券取引所（東証アローズ）

（東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

(3) 集合場所

東京駅八重洲中央口前（両日）

(4) 目的（到達目標）

① わが国の政治、経済、文化の中心地である東京都での職場見学、視察を通じてビジネス全般に関する視野を広げること。

② 庄内地域をはじめとする地方都市の強みと弱み（問題点）を再発見する機会を得ること。

3. 見学先①「戸越銀座商店街連合会」

3.1 概要

戸越銀座商店街は、東京都品川区戸越に位置する全長 1.3 キロメートルの東京一長い商店街である。「戸越銀座商栄会商店街（商栄会）」・「戸越銀座商店街（中央街）」・「戸越銀座銀六商店街（銀六会）」の 3 つの商店街から成り立ち、食品、衣料品、日用品を扱う店から、飲食店やカフェまで幅広い業態の店舗が 400 件程度軒を連ねている。地域の人々や観光客にとって人気のあるショッピングとグルメのスポットで定期的にイベントやフェスティバルも開催されていることから、活気にあふれた商店街となっている。



図 1. 戸越銀座商栄会商店街（商栄会）のアーチ（筆者撮影）

戸越という地名は、江戸時代にこの地が相模国へ抜ける「江戸越え」の村と呼ばれたことに由来す

* 山形県立産業技術短期大学校庄内校
〒998-0102 山形県酒田市京田 3 丁目 57 番 4 号

* Shonai College of Industry & Technology
3-57-4, Kyoden, Sakata, Yamagata, 998-0102, Japan

る（諸説あり）。また、大正 12 年の関東大震災で被害を受けた銀座のレンガを戸越の人々が譲り受け、道路舗装に再利用したこと、銀座のように商売繁盛を願ったことなどにより、全国でも一番早く銀座の名前をもらい戸越銀座が誕生した。

3.2 校外学習当日（10月10日13時～16時）

集合場所となった東京駅から戸越銀座商店街までは、都営浅草線「日本橋」駅から乗車し、「戸越」駅で降車し現地に赴いた。

当日は地元住民や観光客で賑わっており、様々な店舗を見学することで、商店街の多様性とコミュニティの温かさを実感することができた。

なお、地元の方の話によると、近年では商店街内にチェーン店の介入があることから、店舗の入れ替わりが激しく、特に老舗の商店が倒産傾向にあるとのことであった。

4. 見学先②「三菱UFJ信託銀行・信託博物館」

4.1 概要

三菱UFJ信託銀行は三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の一部で東京都千代田区丸の内に位置する日本の主要な信託銀行である。

隣接する場所には同銀行が平成 27 年 10 月に統合 10 周年を記念して開館した「三菱UFJ信託銀行信託博物館」があり、信託の歴史やその役割、重要性を広く知ってもらうことを目的としている。展示内容としては、信託の基本概念の他、歴史や国内外の信託制度に関する情報、実際の信託業務に関連する資料などが挙げられる。

4.2 校外学習当日（10月11日10時～12時）

集合場所となった東京駅八重洲中央口前からは徒歩で反対側の丸の内方面に抜け、10 分程度で現地に到着した。内容としては、博物館の方による信託銀行に関する講義を受講後、本店での業務内容を見学するといった形で実施をしていただいた。

（1）信託銀行に関する講義

講義用のレジュメ配布の下で、説明をしていた。以下は講義内において特に参考になったものを抜粋して記載する。

①金融機関の種類

金融機関は、提供する機能によって様々な種類があるが、信託銀行は「預金取扱金融機関」に分類される。

②信託銀行とは

銀行の 3 大業務（「預金」・「貸出」・「為替」）である「銀行業務」に加えて、信頼できる人に財産を譲渡して管理・運用を行う「信託業務」の両方の業務を営むことが出来る銀行のことである。

③信託業務と信託の仕組み

信託業務には、金銭信託や投資信託、不動産管理信託などが挙げられ、いずれも委託者が受託者に財産を託し、受益者に還元していく仕組みとなっている。



図 2. 信託博物館内にて学生が説明を受ける様子（筆者撮影）

（2）本店業務内容の見学

本店では、ロビーとディーリングフロアの見学を行った。ロビーでは受付相談業務を、ディーリングフロアでは、外国為替取引業務を見学した。

ディーリングフロアでは、リアルタイムで市場の動向を監視し、迅速に取引を行うために多くのディーラーが作業を行っており、「ディーラーは高速取引や大きな資金が動く環境であるため、①効率的かつ正確な業務遂行が求められること、②金融業界においては非常に重要な役割を果たしていること、③業務の品質やスピードが企業の競争力に直結すること」について、実際のモニターを扱いながら解説をしていただいた。

5. 見学先③「東京証券取引所（東証アローズ）」

5.1 概要

東京証券取引所は東京都中央区日本橋に位置する日本最大の取引所である。日本取引所グループ（JPX）の子会社で、日本初の公的な証券取引機関である東京株式取引所が前身となっている。

また、東証アローズとは東京証券取引所の取引システムの 1 つで、主に株式や金融商品を取引するための電子取引システムと情報提供スペースを受け持っている。ここでは投資家等に対してはリアルタイムの市場情報の提供を行い、上場企業に対してはその企業の的確な情報開示のサポートを行っている。



図 3. 東京証券取引所（筆者撮影）

5.2 校外学習当日（10月11日14時～16時）

三菱 UFJ 信託銀行からは東西線「大手町」駅で乗車し「茅場町」駅で降車し現地に赴いた。

内容としては、「案内付き見学ツアー」と「大学生向け講義」を受講した。

（1）案内付き見学ツアー

案内付き見学ツアーは東証職員によるガイドの下、主に以下の点の見学を行った。

①見学回廊

マーケットセンターを様々な角度から眺められる。また回廊の廊下には、東証設立の歴史に触れている写真展示コーナーがある。

②チッカー

マーケットセンターの上を回る 1 周 50m の大きな電光掲示板で売買成立時に株価が表示される。回るスピードには 4 段階あり、取引量により回るスピードが異なる。当日は普通の取引量であったため、2 番目の速さで回っていた。

③マーケットセンター

市場の透明性と公正性を表現するために直径 17m のガラスシリンダーで覆われている。

④オープンプラットフォーム

企業と一般投資家のふれあいの場としてセミナーやセミナーを開催する多目的スペースとなっている。当日は株価ボードで当校への歓迎メッセージを表示していただいたため、記念撮影を行った。



図 4. 株価ボード前での記念撮影（筆者撮影）

（2）大学生向け講義

大学生向け講義では、「証券市場の基本的な仕組みと機能」をテーマに東証職員によりレジュメ配布の下、以下の講義を行っていただいた。

①証券市場の仕組みと機能

株式会社は企業活動で利益の獲得を図るため、多額の資金調達が必要となる。株式会社制度は多くの人々から出資しやすく工夫された制度で、企業側、株主側の双方にとってメリットがある。

②証券取引所の役割

証券取引所は、投資家等が円滑かつ公正な証券取引を行うためのプラットフォームを提供している。特にインサイダー取引や相場操縦などの不正取引により投資家からの信頼を損なわれないよう、日々売買の監視を行っている。

③変わる上場会社

株主には単なる利益獲得のみでなく、長期保有の株主になってもらうため、ディスクロージャーの充実化と積極的な IR を行う企業が増加傾向にある。また、株主総会や取締役会の変革が行われており、特に株主総会は株主が議決権を行使し、意見を反映しやすくするため、近年では株主総会開催日の分散や対話型株主総会を推進する傾向にある。

6. 校外学習を終えて

首都圏の校外学習を終えて、庄内地域をはじめとする地方都市の強みと弱み（問題点）を改めて整理すると以下の点が浮き彫りとなった。

6.1 地方都市の強み

①コミュニティとのつながりが強い

地域社会との結びつきが強く、お互いに助け合うことや協力することの文化が根付いている。

②生活コストが低い

一般的に都市部よりも生活費が安いことが多く、快適に生活しやすい。総務省の小売物価統計調査（2022）によれば、消費者物価地域差指数は、東京都が 104.7 と最も高く、宮崎県が 96.1 と最も低くなっており、物価の地域差は最大で 1.09 倍となっている。

③労働環境の良さ

地方都市では、就職活動における競争が少なく地元企業との関係構築がしやすい。また、地方企業は働き方に柔軟な場合が多く、仕事と私生活のワークライフバランスが取りやすい。

6.2 地方都市の弱み

①交通インフラの未整備

公共交通機関が発達していない場合が多いことから、移動手段が限られ自家用車に依存せざるを得ない。

②人口減少

若年層が都市部に移住する傾向が高いことから、少子高齢化が加速している。酒田市においても、転入者よりも転出者の人数が多く、過去 5 年で 1,191 人（平均 238.2 人）の「社会減」となっている。

③情報発信力の弱さ

地方の魅力を広く認知してもらうための情報発信が不十分で、観光客の誘致に工夫が必要である。

7. おわりに

本稿において、IT 会計ビジネス科における首都圏の校外学習の概要などについて報告した。

陸の孤島と言われる庄内地区に住む学生にとっては、首都圏に行く機会がないという声も多く、毎年貴重な学びの場となっている。首都圏で行われている最先端の知識やビジネス活動を吸収することでさらに世間に対する見聞を広げ、今後の社会

生活に大いに活用して欲しい。また、地方都市の強みを活かすことでさらに地元の良さを再認識するきっかけとなって欲しい。

謝辞

今回の校外学習に当たり、戸越銀座商店街連合会の皆様、三菱 UFJ 信託銀行・信託博物館の皆様、東京証券取引所の皆様に対し見学を快く引き受けて下さり、厚く御礼を申し上げます。

注

- 1) 当初 1 日目の集合時刻は 11 時であったが、羽越本線「特急いなほ」の運休の影響で迂回する学生がいたため、13 時に変更している

参考文献

- 1) 西村隆太:月間おとなりさん®創刊 500 号記念 大田区・品川区の歩き方 SP, ハーツ&マインズ. (2024)
- 2) 横山裕司:散歩の達人 戸越銀座 武蔵小山 中延, 交通新聞社 (2020)
- 3) 戸越銀座商店街中央街:戸越銀座商店街お買い物マップ (2024)
- 4) 戸越銀座商店街オフィシャルサイト:同商店街 HP, <<https://www.togoshiginza.jp/>> (最終閲覧日令和 7 年 2 月 20 日)
- 5) 三菱 UFJ 信託銀行信託博物館:ようこそ信託博物館へ～信託の魅力を探ってみましょう!～, 三菱 UFJ 信託銀行 (2024)
- 6) 三菱 UFJ 信託銀行信託博物館:文字から学ぶ信託
- 7) 三菱 UFJ 信託銀行信託博物館:ごあんない
- 8) 日本取引所グループ:日本経済の心臓 証券市場誕生!, 集英社. (2017)
- 9) 東京証券取引所:見学ガイドブック
- 10) 日本取引所グループ:同グループ HP, <<https://www.jpx.co.jp/>> (最終閲覧日令和 7 年 2 月 19 日)
- 11) 総務省統計局:消費者物価地域差指数小売物価統計調査(構造編) 2022 年(令和 4 年)結果, <https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2022.pdf> (最終閲覧日令和 7 年 2 月 19 日)
- 12) 酒田市公式ウェブサイト:住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態, <https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/toukei/hokoku_shiryo/toti_kisyo_jinko_dat/jinko.html> (最終閲覧日令和 7 年 2 月 19 日)